

ふくいミュージアム

リニューアル準備号 2002.3.31 No. **41**



県立博物館が
来年の春に
生まれ変わるのさ！



ケンパクが
面白くなるよ

えっ、
そうなの？



楽しみだワン！
🐾



大ニュース
知ってる？

なあに？

博物館が生まれかわる！ どのようにかわる？

リニューアルのポイント I

- これまでの総合博物館から、人文系の歴史博物館（「仮称」福井県立歴史博物館）に変わります。
- 21世紀に生まれ変わる地域博物館として、これまでにない新しい展示設備と展示手法を導入します。

フレキシブル展示の導入

毎年、少しずつ展示内容を変更・更新します。歴史ゾーンを中心に、展示コーナーと展示品を組み替えていきます。

可動式展示施設の整備

フレキシブル展示を行うために、可動ケース・可動壁を設置し、照明にも上下可変の光ファイバーを取り入れます。

モノ中心展示の採用

できるだけ多くの実物を一堂に並べるようにします。モノをメインに展示テーマをたて、「感性に訴える展示」「わかりやすい展示」を心がけます。

参加体験の機会の重視

利用者が展示企画に参加する「オープンギャラリー」、博物館の舞台裏を体験する「オープン収蔵庫」を新設します。

リニューアルのポイント II

■館内には四つのゾーンができます。

歴史ゾーン (2階)

福井の歴史を特徴づける文化財(モノ)を時代の流れに沿って並べます。現代から古代へ、あるいは古代から現代へと、どちらの方向からでも観覧できる自由導線を採用します。ここでは、各時代のシンボルとして「モノづくりの現場」(大型ジオラマ)も再現します。

トピックゾーン (2階)

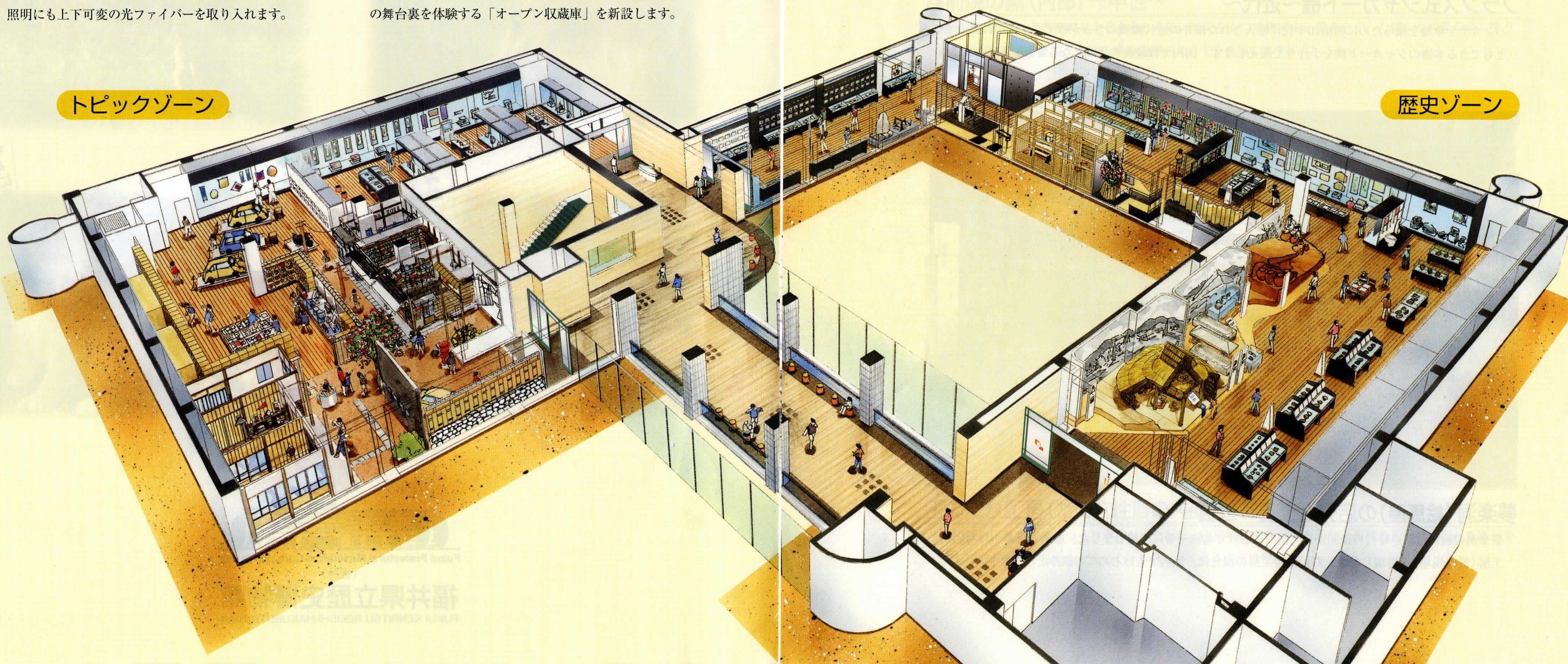
「昭和の暮らし」にスポットをあてて、駄菓子屋や本屋、食堂が並ぶ昭和30~40年代の町かど、近代的な生活様式を取り入れた村の農家を復元します。ここには、利用者と学芸員が協力して展示会を開く「オープンギャラリー」、そして特別展示室を併置します。

オープン収蔵庫 (1階)

誰でも自由に入れる大きな収蔵庫を開設します。新収資料の紹介コーナーや資料の収集整理室、修復元室なども併置し、各種の体験学習会やワークショップなどを開催するフリースペースも用意します。

情報ライブラリー (1階)

映像を中心に、福井の歴史・文化財に関するクオリティーの高い情報を発信します。5~6人用のブースと30人程度が使用できるグループ室を設けます。当館オリジナルのデジタルハイビジョン番組を自由に鑑賞できます。

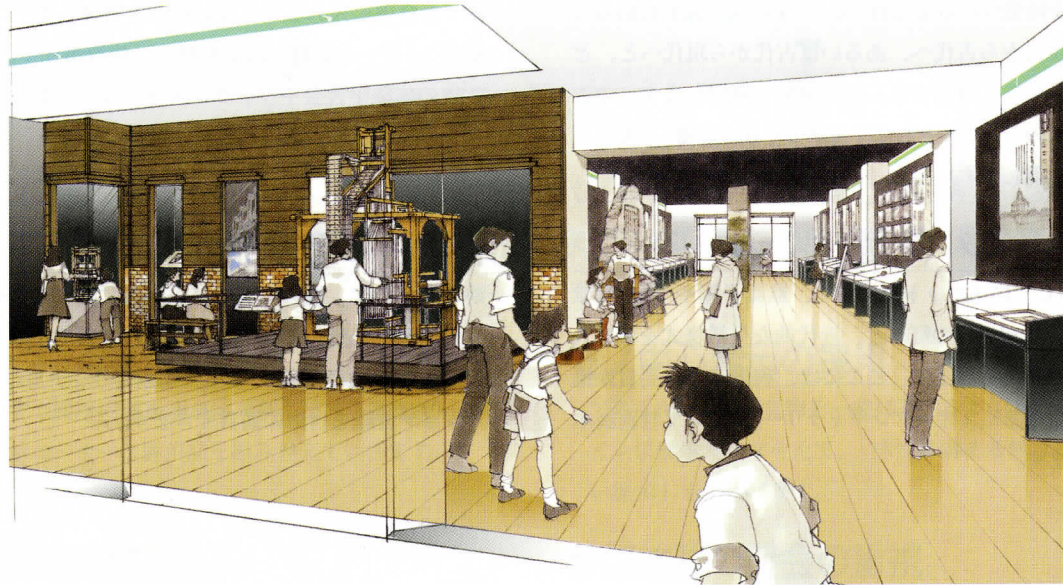


トピックゾーン

歴史ゾーン

リニューアルのポイント III

■歴史ゾーンには四大ジオラマ(実物大の模型)が登場します。いずれも福井の歴史にちなんだ「モノづくりの現場」を再現したものです。



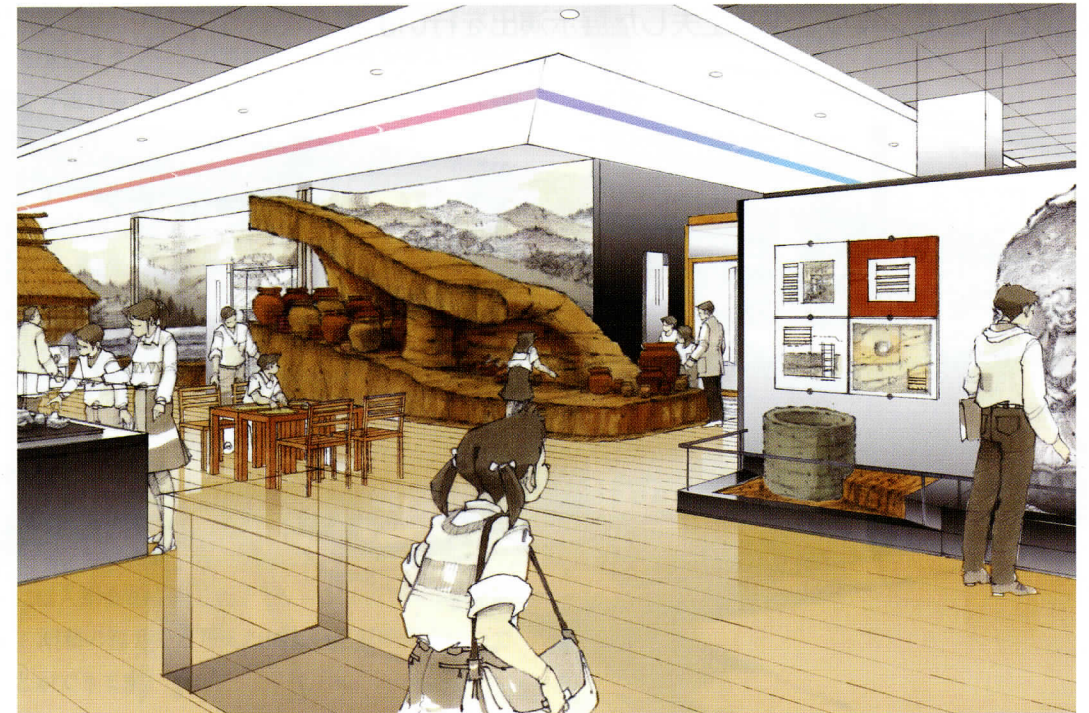
フランス式ジャカード機～近代～

ハンカチや傘地を織るために明治10年代に輸入された福井の近代織機のさきがけです。実際に動かすこともできる本物のジャカード機を手作りで復元します。国内では最後の試みとなるでしょう。



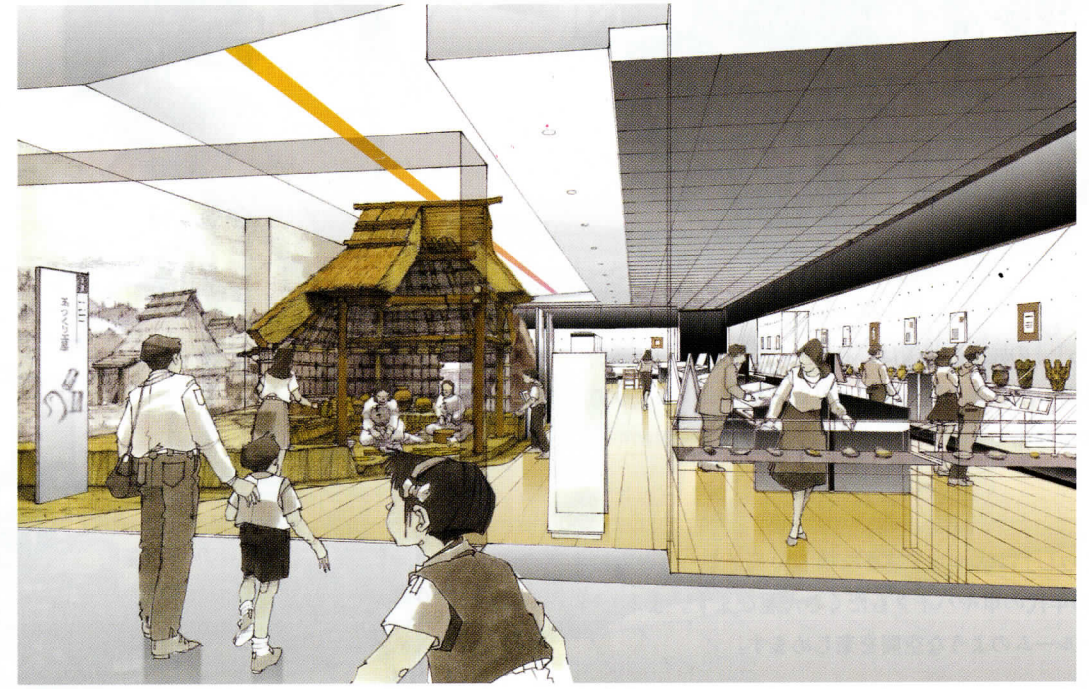
夢楽洞(絵馬屋)の店先と工房～近世～

夢楽洞の絵馬は江戸時代の後期から明治期にかけて北陸一帯に流通しました。絵馬を飾りつけた店先と工房(製作現場)を再現します。町絵師の工房の復元は、国内でもはじめての試みとなります。



越前焼の窯(内部)～中世～

越前焼は日本六大古窯にもかぞえられる長い歴史をもつ焼物です。焼き上がったばかりの甕や壺、すり鉢などがたくさん並ぶ、当時の窯の内部のようすを再現します。

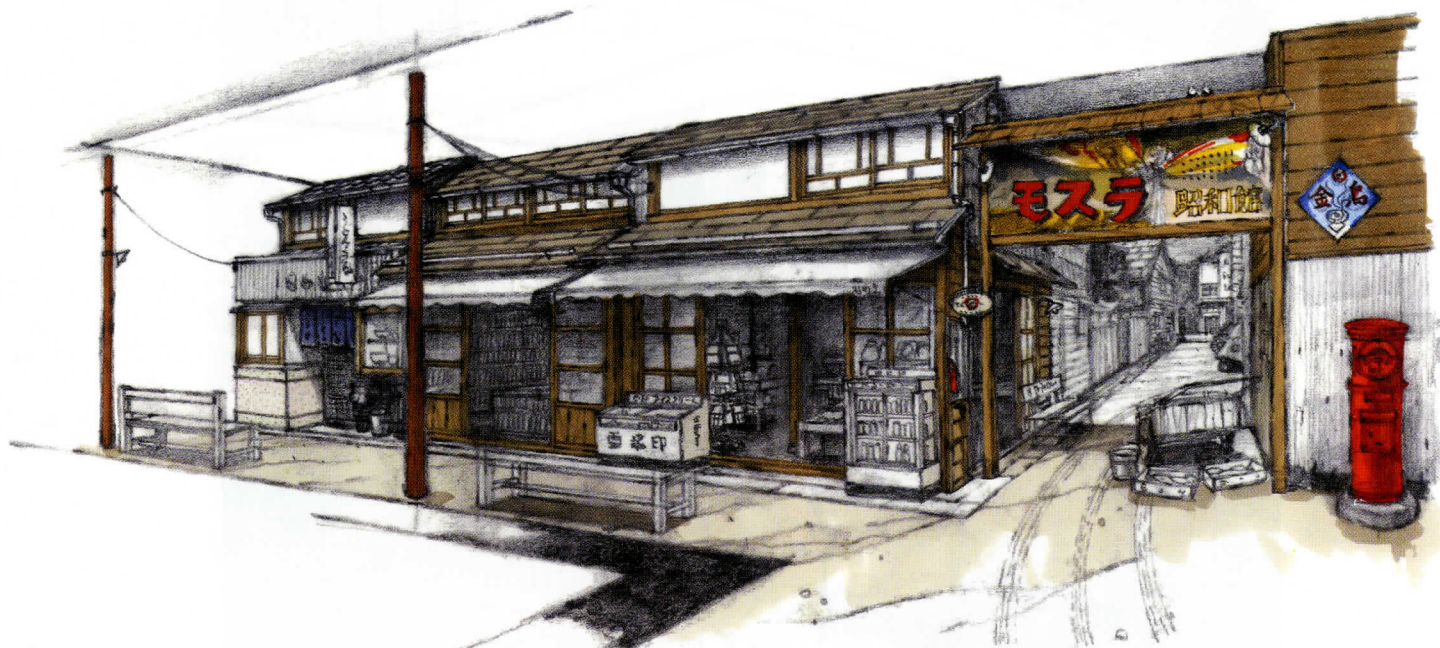


玉づくり工房(たて穴住居の内部)～古代～

古代の北陸地方では玉づくりがさかんでした。古墳時代の住居のなかで、各種の工具をつかって原石を加工して、管玉や勾玉などをつくりあげていくようすを再現します。

リニューアルのポイント IV

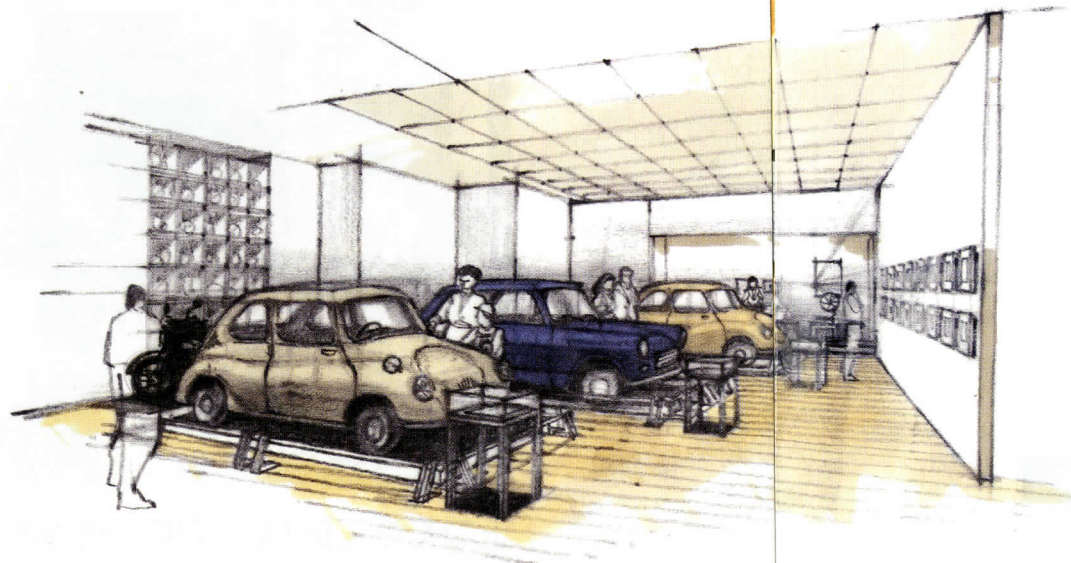
■ ちょっと楽しい空間づくり、少し工夫した展示演出を行います。



●「昭和の暮らし」の展示会場では、春・秋の季節がめぐり、朝・昼・夕の時間の流れを表現します。町かどや農家には犬や猫、スズメなども登場し、食堂のテレビでは長嶋や力道山が活躍します。

●「昭和の暮らし」には、さまざまな懐かしいモノたちとともに、昭和30～40年代の車やバイクもたくさん並びます。まるで当時のショールームのような空間を楽しめます。

●「昭和の暮らし」と歴史ゾーンのジオラマ周辺には、本物そっくりの地面をつくります。臨場感あふれる展示空間で、タイムスリップしたようなひとときをお過ごしください。



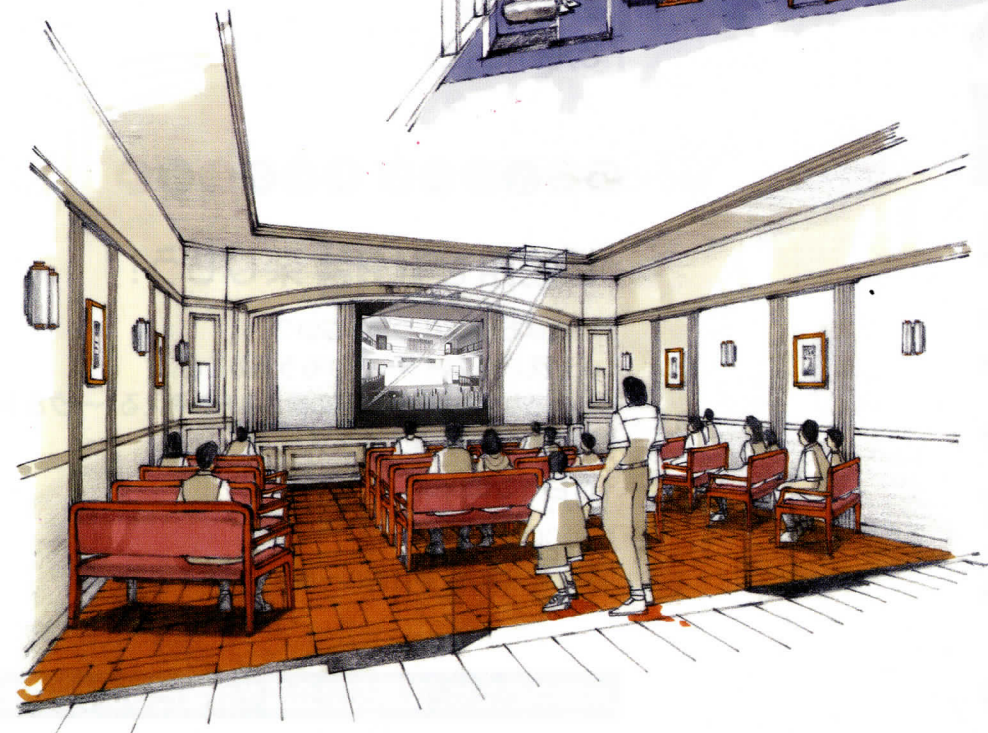
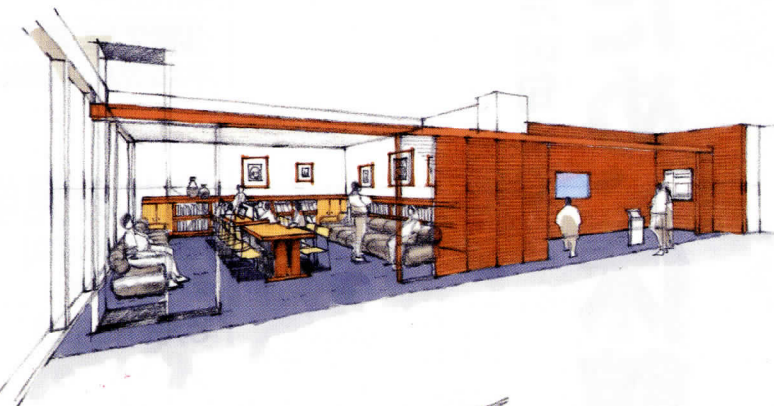
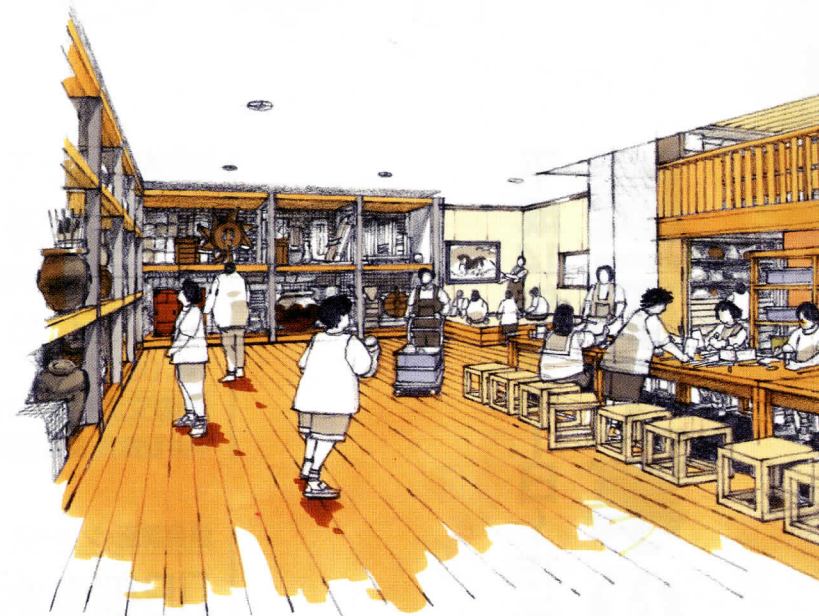
●歴史ゾーンとトピックゾーンの間には、ヒーリングムービー（福井の自然）が流れる「休息スペース」を設けます。ここで観覧の疲れをゆっくりと癒すことができます。

●「オープン収蔵庫」では、一般には見ることができない博物館収蔵庫のようすを観察できます。ワークショップに参加したり、資料の収集整理や修復復元の作業現場をのぞくこともできます。

●「情報ライブラリー」では、デジタルハイビジョンによる美しい映像と優れた音響を思う存分に楽しめます。グループ室では、図書やコンピューターによる学習もできます。

●歴史ゾーンには人絹会館を模した「ミュージアムシアター」を開設します。昭和の福井をとらえた懐かしい記録映像をいつでも楽しむことができます。

●絵馬や屏風、土器などの展示では、実物とともに美しい復元品が並びます。そのモノがつくられた当初の姿を目の当たりにするとき、きっとまた新しい発見・感動があるはずですよ。



このほかにも、まだまだたくさんの演出を企画しています。
リニューアル後に何度も足を運び、そのつど発見していただきたいと思います。

ご期待ください。

平成14年度

行事 あ ん な い

平成14年4月1日～15年3月中旬まで
展示工事のため、休館いたします。

館長講座・シリーズ 住まいと暮らしの歴史①

「住宅の洋風化について」

～右近家・山本家などを例にして～

5月18日 [土]

14:00～

国際交流会館 第1・第2会議室にて
平井聖館長 & 高嶋猛氏(福井大学)

館長講座・シリーズ 住まいと暮らしの歴史②

「旧御泉水屋敷(養浩館)をめぐる」

11月16日 [土]

14:00～

国際交流会館 特別会議室にて
平井聖館長 & 吉田純一氏(福井工業大学)

町なみ見学会

「三国方面(予定)」

予約申込み必要

6月8日 [土]

リニユール トークショー

「博物館を10倍楽しもう！」

博物館はお堅い?! つまらない?

いえいえ、そんなイメージはもう昔のこと。

いろいろな切り口で博物館の楽しみ方を考えるトーク&トーク。

ミニ展示や実演も楽しめます。

10月19日 [土]

13:00～

国際交流会館 多目的ホール&ホワイエにて

休館中のため、国際交流会館を会場とします。ご注意ください。

編集発行

福井県立博物館

FUKUI KENRITSU HAKUBUTSUKAN 〒910-0016 福井市大宮2丁目19-15 ☎0776-22-4675(代)

ユージアム

No.41 2002.3.31発行